

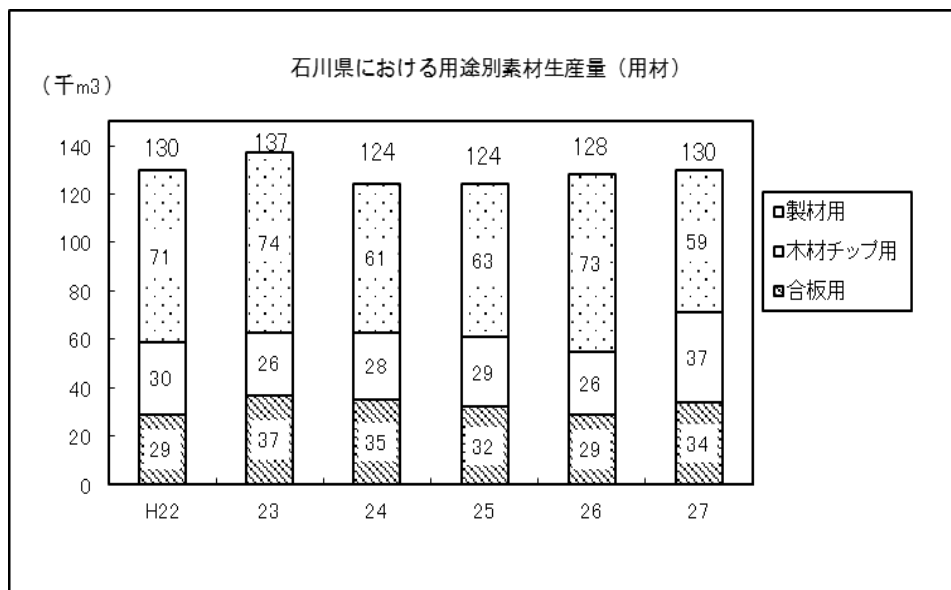
I 石川県における木材の加工流通の概要

1 木材需給の現況

(1) 素材(丸太)

○ 素材生産量は横ばい(Ⅱ-2表)

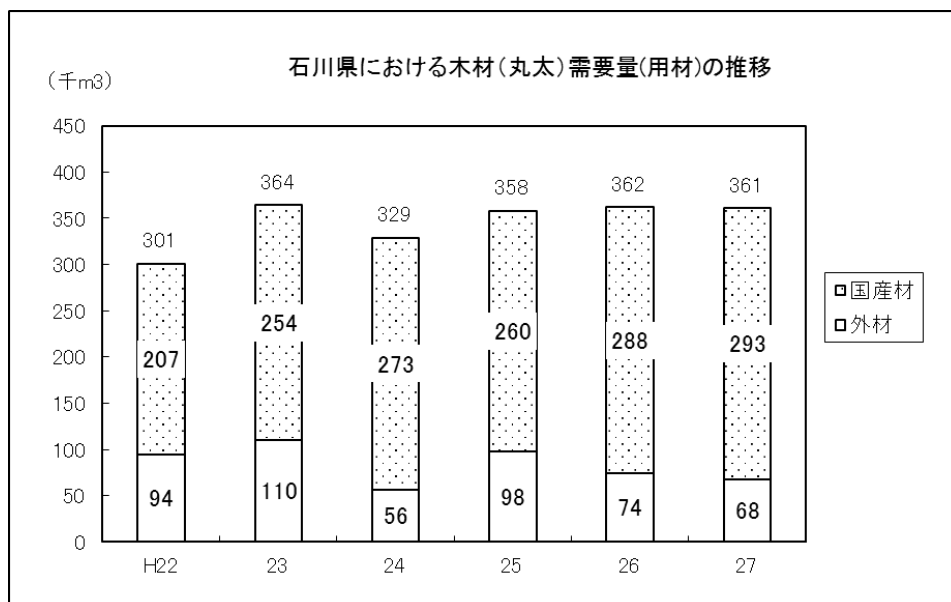
平成27年次の県内素材生産量は130千 m^3 (対前年101.6%)であった。用途別では、製材用が59千 m^3 (対前年80.8%)、合板用が34千 m^3 (対前年117.2%)、チップ用については、統計処理上37千 m^3 (対前年142.3%)となった。



注：平成27年より、木材チップ用に木質バイオマスエネルギー利用動向調査の林地残材等の数値を含む。

○ 木材需要量は横ばい(Ⅱ-8表)

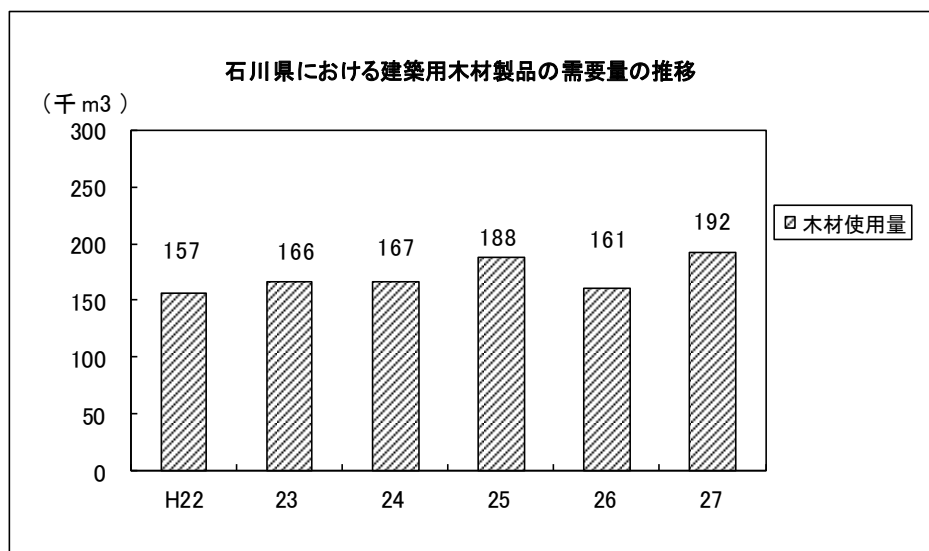
平成27年次の県内木材(丸太)需要量は361千 m^3 (対前年99.7%)となった。内訳は、国産材が293千 m^3 (対前年101.7%)、外材が68千 m^3 (対前年91.9%)であり、国産材の割合は、81.2%(対前年1.6ポイント増)となった。



(2) 製品

○ 建築用木材製品の需要量が増加 (VI-3 表)

平成 27 年次の県内建築物着工床面積は木造 701 千 m^2 (対前年比 117.2%)、非木造 844 千 m^2 (対前年比 124.5%) であったことから、建築用木材製品の需要量 (推計) は 192 千 m^3 (対前年 119.3%) となった。



【推計方法】 木造：着工床面積 (m^2) \times 0.180 (m^3/m^2)

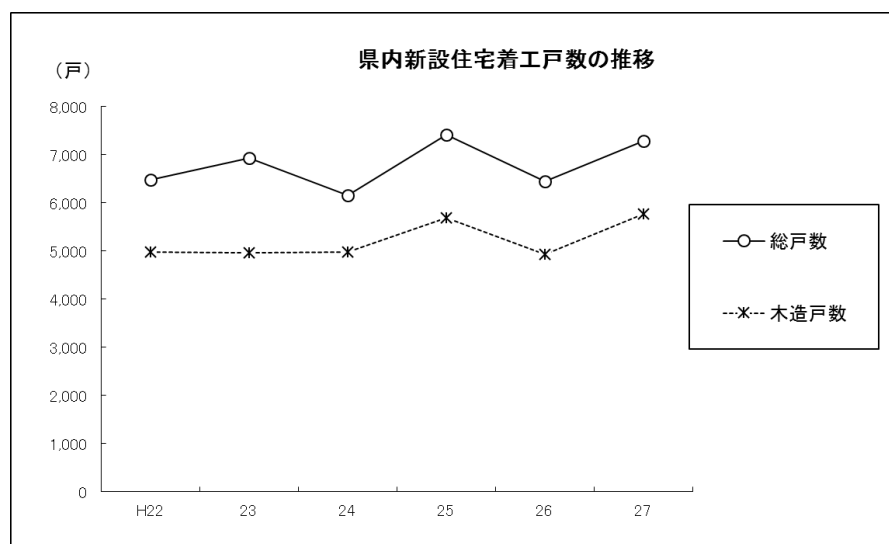
非木造：着工床面積 (m^2) \times 0.078 (m^3/m^2)

(3) 新設住宅着工戸数の推移

○ 新設住宅着工戸数、木造戸数ともに増加 (VI-1 表)

平成 27 年次の県内新設住宅着工数 7,286 戸 (対前年 112.9%) のうち木造住宅は 5,765 戸 (対前年 116.9%) となった。新設住宅着工数の木造率は 79.1% (対前年 2.7 ポイント増) であった。

着工新設住宅の総床面積は 741 千 m^2 (対前年 111.9%) で、1 戸当たりの平均床面積は 101.7 m^2 (対前年 99.1%) であった。



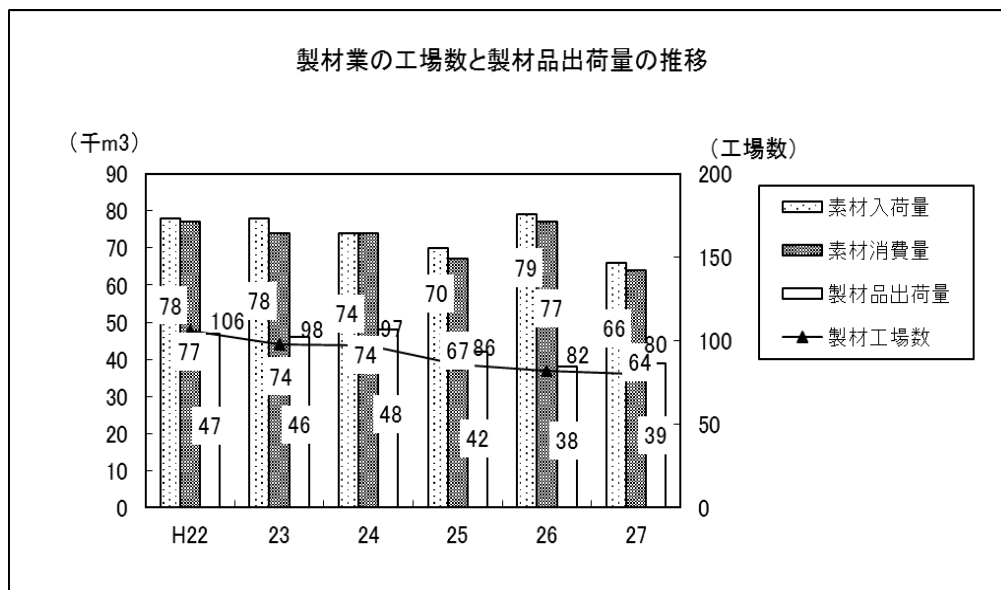
2 木材加工業の現状

(1) 製材業

○ 工場数が減少 (Ⅲ-2表)

平成 27 年次の県内製材工場数は 80 工場(対前年 2 工場減)、従業者数は 230 人(対前年 29 人減)となり、素材消費量は 64 千 m³(対前年 83.1%)であった。

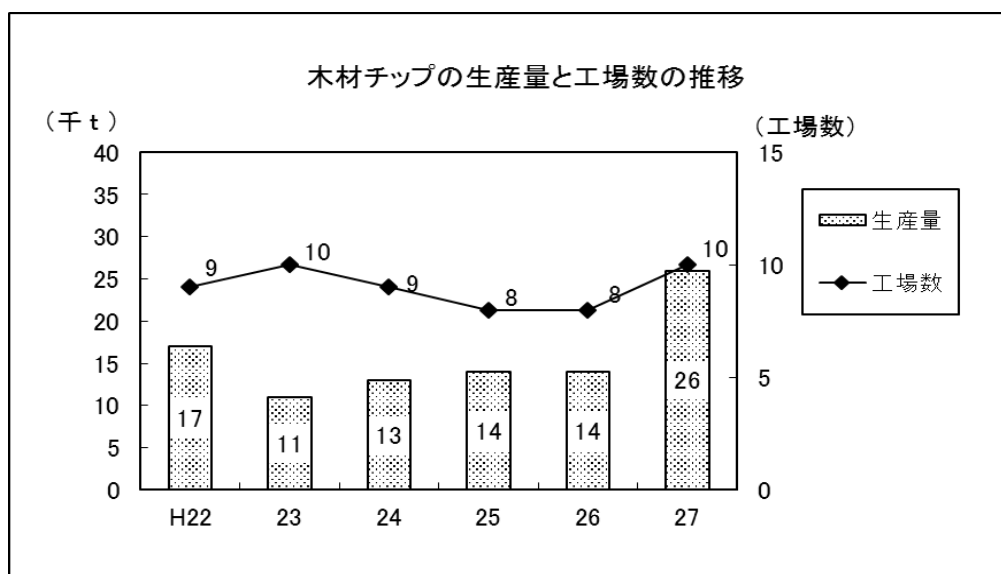
また、動力の総出力数は、6,392kW(前年比 84.4%)であり、1 工場当たりの平均出力数は 79.9kW であった。



(2) 木材チップ工業

○ 生産量は増加 (Ⅲ-6表)

平成 27 年次の県内木材チップ生産量は、26 千 t (対前年 185.7%) となった。原材料入手区分別では、工場残材が 8 千 t (対前年 133.3%)、林地残材が 9 千 t、素材が 9 千 t (対前年 112.5%) となった。工場数は 10 工場 (対前年 2 工場増) であった。



※合板加工業については、1 社のみであるため記載を省略

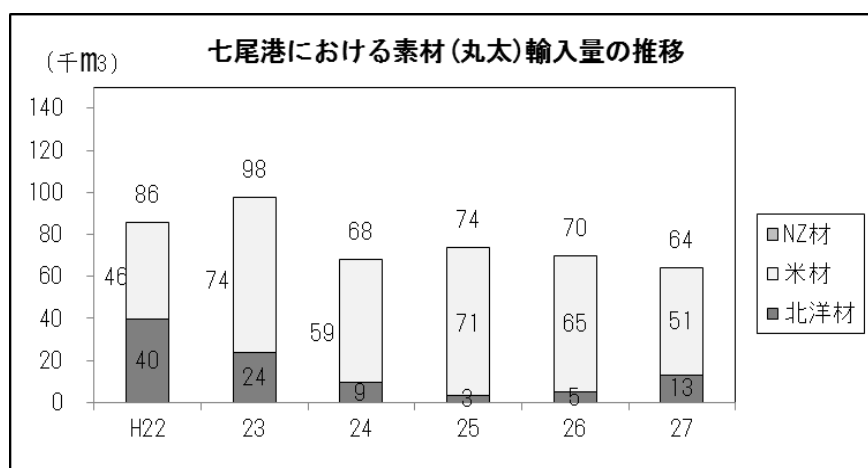
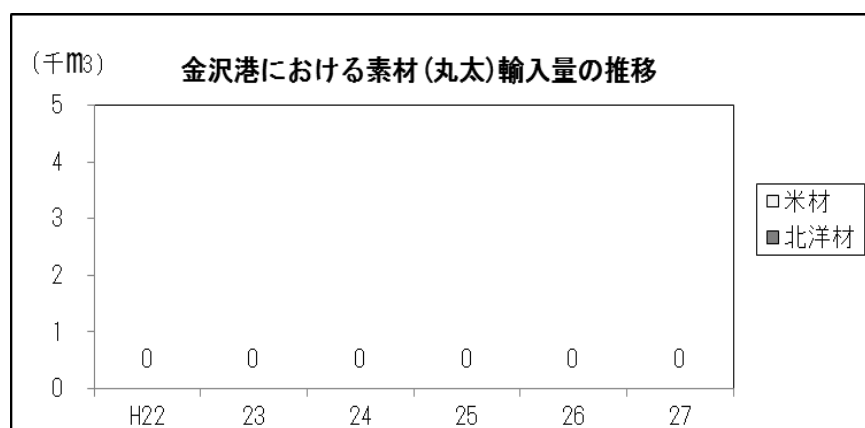
3 木材輸入の動向

(1) 素材(丸太)

○ 輸入量が減少傾向 (IV-1・2表)

平成 27 年次の県内素材(丸太)輸入総量は 63,778m³ (対前年 91.2%) で、そのすべてが七尾湾への陸上げであった。内訳は、北洋材が 13,044m³(対前年 258.8%)、米材が 50,734m³(対前年 78.2%)であった。

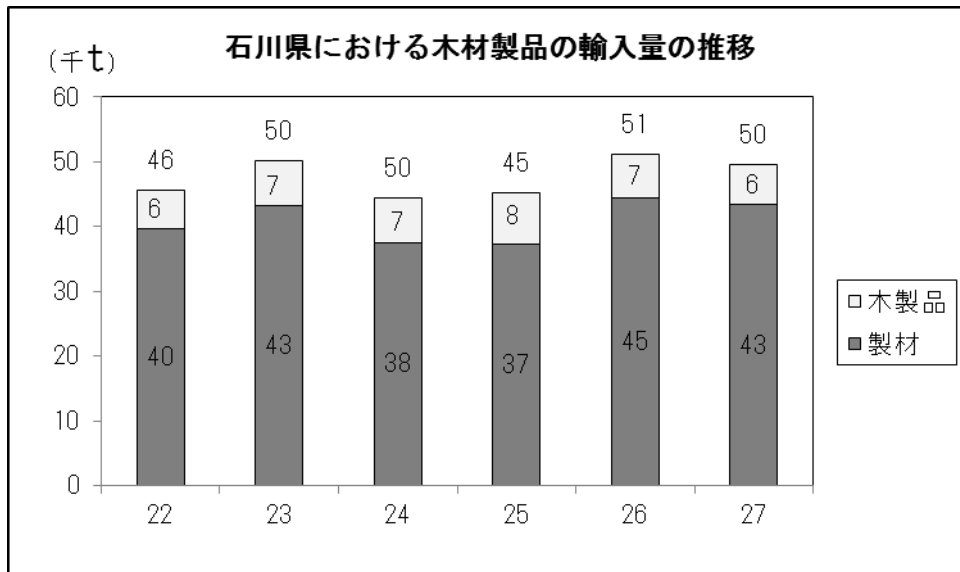
北洋材の内訳をみると、カラマツが 13,044m³ (構成比 100.0%) であった。



(2) 製品 (IV-3・4表)

平成 27 年次の県内木材製品の輸入総量は 49,547t(対前年比 95.3%)で、その内訳は製材が 43,437t(対前年比 97.6%)、木製品が 6,110t(対前年比 92.7%)であった。

注：木製品は、合板、集成材、建具等を指す。

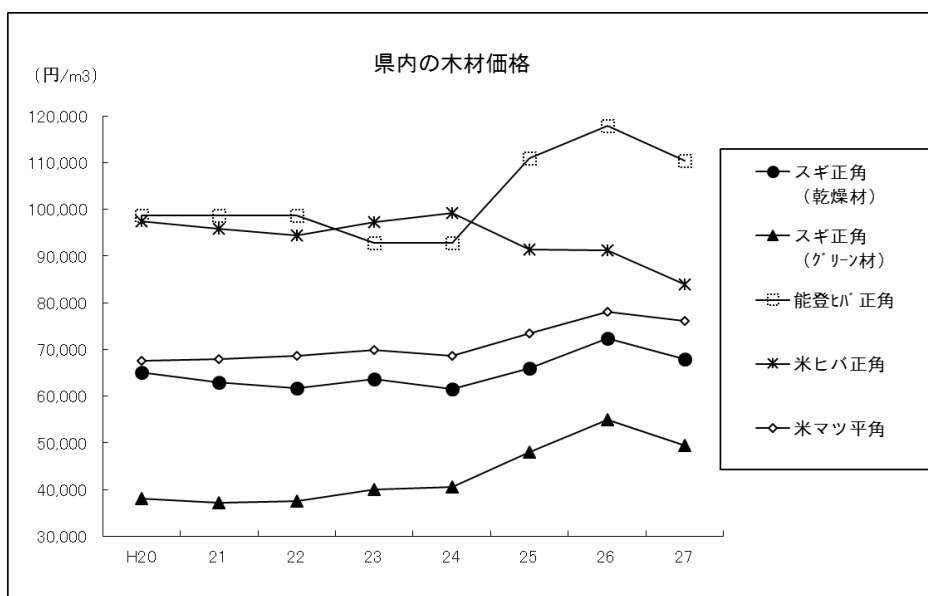


4 木材価格の動向

(1) 製品

○ 製品価格が下落 (V-2表1)

平成27年次の県内の木材製品価格は、スギ正角(乾燥材) 67,900 円/m³(対前年 4,500 円安)、スギ正角(グリーン材) 49,500 円/m³(対前年 5,500 円安)、スギ正割 62,000 円/m³(対前年 3,100 円安)、能登ヒバ正角 110,400 円/m³(対前年 7,500 円安)となり、ベイヒバ正角 84,000 円/m³(対前年 7,300 円安)、ベイマツ平角 76,100 円/m³(対前年 2,000 円安)となった。



平成19年5月から価格動向調査の調査項目を一部変更。

注：スギ正角の調査について、乾燥材とグリーン材に分けて調査開始。

(2) 素材(丸太)

○ 原木価格が能登ヒバは下落、その他は横ばい (V-2表2)

平成 27 年次の県内の素材価格は、スギ 10,900 円/m³(対前年 800 円安)、能登ヒバ 16,900 円/m³ (対前年 3,800 円安) 北洋カラマツは 24,800 円/m³(対前年 500 円高) ベイマツ 30,200 円/m³(対前年 400 円安)となった。

